

春～夏にこそ気をつけたい紫外線!! 紫外線対策の正しい知識で商品選びを!

日差しもきつく、気温も夏日になる日が多くなる春～夏。外出はもちろん、家の中でも気になるのは紫外線です。テレビ、雑誌などでも大々的にあつかわれる紫外線対策ですが、消費者に誤解を与えるような商品も見られます。正しいUV商品の知識をつけてしっかりと適切なケアを続けましょう。

髪用は認められていない 日焼け止めスプレー

この季節になると、紫外線ケアも本格的になります。今回は紫外線ケア剤の注意点や知っておきたい表示法などを、モアコスメティックスの亀田宗一社長に詳しく教えてもらいました。

——一昔前までは日光浴に代表されるように健康の象徴だった紫外線がすっかり悪者です。

亀田社長（以下略）「近年の研究で紫外線の有害性、特に肌に対する光老化反応については広く知られるようになりました。今では、様々な紫外線ケア商品が店頭で並ぶことが当たり前になっています」

——なかには、消費者に対して、まもられていないことやまぎらわしい表示があるとか……。

「まずは、最近の紫外線ケア商品でSPF値・PA値の分析書が小売店に置いていなくて消費者に配られていないこと（分析書の写真）があげられます。また、肌に使用するエアゾールスプレー式の日焼け止め剤のなかに、広告や商品説明に毛髪用と記載されている商品もあります（下表参照）。問題なのは、これらが「肌及び毛髪に使用する紫外

線防御商品」として販売されていることなのです。

化粧品品として「日焼け止め商品」とうたえるのは、肌へのみ許されているもので、毛髪に対して「日焼け止め」と表示することは認められていません。そのためか、各社、毛髪への効果は濁した表現で書いていたりします。でも、肌で光老化を起こす紫外線ダメージを、髪でもブロックするという説明を受けると、消費者は毛髪も紫外線からまもってくれる商品という印象しか受けられないでしょう」

——てっきり髪も紫外線からまもってくれると思っていました。

「なぜ、化粧品での日焼け止めが肌用だけに限定されているのかというと、肌は生きた細胞で、紫外線のダメージを受けることで、DNAを損傷するリスクをもっています。それに対抗するために活性酸素を放出し、防御機構として炎症反応を起こしたりもします。一方、毛髪（いわゆる目に見える部分）は、肌のようにSPF値やPA値を測定することができません。当然、毛髪での紫外線防御効果（有効性）に関する説明もできなければ、毛髪への紫外線防御効果をキャッチフレーズにもできない



というわけです。そもそも、毛髪は紫外線から頭（脳）を守るという機能ももっています。頭や毛髪を紫外線からまもるには、帽子や日傘がいちばんです」

UVカット指数は 指定機関で正しく測定を

——スプレータイプの問題は？

「紫外線防御剤とLPG（気化するガス）を詰めたエアゾール製品は、缶の中では重量がありますが、噴射するとすぐに気化してしまいます。そのため、エアゾールのSPF値・PA値は測定できません。表示されているUVカット指数は本当に保障されているのでしょうか。しかもその数値は、厚生労働省指定の試験機関でテストをして、その

数値を分析表として消費者へ提出しなければいけないことになっているのに、量販店、ドラッグストアで分析書が配布されることがないのが実状です。

本当に表示どおりSPF50+・PA++++という最高値の紫外線防御機能があるのでしょうか。このことを考えたとき、今回の三菱自動車の燃費の捏造と同じではないか、SPF値・PA値を水増しして消費者に伝えていいの、と疑問を感じます。エアゾールのSPF値・PA値は、実際の使用方法で指定試験機関で行い、その実際の数値を消費者へ知らせてほしい。エアゾール以外の日焼け止め商品も、指定試験機関で測定して消費者に伝えてほしいと思っています」

毛髪用紫外線防御商品として販売されている商品の一例

商品名	K社製 UVプロテクトスプレー	M社製 UVミスト	D社製 UVカットスプレー
種別許可 (SPF・PA)	日やけ止め透明スプレー (SPF50+・PA++++)	日やけ止めスプレー (SPF50+・PA++++)	ヘアトリートメント・頭皮用日やけ止め (SPF50+・PA++++)
UV防御剤	メキシケイヒ酸エチルヘキシル (紫外線吸収剤)	メキシケイヒ酸エチルヘキシル (紫外線吸収剤)	メキシケイヒ酸エチルヘキシル (紫外線吸収剤)
商品説明(抜粋)	最強UVカット! 紫外線ダメージから肌と髪をまもり、健やかにとのえます。化粧下地としても使えます。“顔・からだ用”の説明のすぐ下に“髪・頭皮にも”の説明	さらりとしたUVカットでカラーをキープ。キューティクルにダメージを与えるUV-Bとカラー毛髪を退色させるUV-A、どちらもムラなくしっかりカット。 ※SPF、PA測定値は肌に対する基準値に準ずる値で、髪への効果を示すものではありません。	髪や頭皮にうるおいを与え、髪や肌を夏のストレスから解放します。髪や頭皮など日焼け止めを塗りにくい部分にもシュッと簡単。

紫外線を防御する成分をおさらい ～紫外線散乱剤と紫外線吸収剤のメカニズムの違い～

トラブルを予防する 肌にやさしい散乱剤

紫外線対策は通年という人が増えていますが、やはり、春～夏にかけては特に注意が必要です。そこで活躍するのが日焼け止め化粧品です。これらが紫外線を防いでくれるメカニズムには、2種類あることを知っていますか？

実は、紫外線を防御する成分は、〈紫外線散乱剤〉と〈紫外線吸収剤〉の2種類に大別されます（右図）。〈散乱剤〉は文字どおり、鏡のような紫外線を反射する物理的な膜を肌の上で形成することでブロックします。一方の〈吸収剤〉は、特殊な構造をもち、特定の紫外線波長を

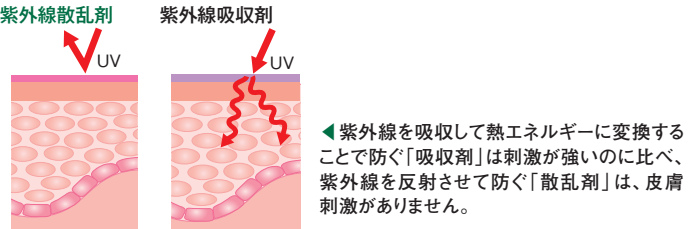
吸収してブロックします。一見するとどちらも紫外線エネルギーをブロックしているように思えますが、吸収剤は紫外線を熱エネルギーに変換して放出しています。吸収剤でも紫外線は肌には直接あたらないため、日焼けが起こることはありませんが、肌は変換エネルギーを受け続けるため、大きな負担となります。そのうえ、吸収剤自体もアレルギーとなるリスクを含んでいるので、アレルギー発症という重篤な症状が起こることさえあります。

さらに、有機化合物である吸収剤を配合する日焼け止め製品には、大量の界面活性剤を使用する必要性があり、これらも肌に対しては負荷をあたえます。

しかし、ほとんどの化粧品メーカーは、簡単に高い紫外線防御機能を得られることから、〈散乱剤〉と〈吸収剤〉を併用して

製品化しています。肌のことを考えるなら、紫外線防御は紫外線散乱剤のみでブロックすることがなによりも大事なのです。

紫外線防御メカニズム



	防御のしくみ	物質	代表的な素材
紫外線散乱剤	紫外線の散乱	無機化合物	酸化チタン 酸化亜鉛
紫外線吸収剤	紫外線の吸収 エネルギー転換・放出	有機化合物	ベンゾフェノン系 ケイ皮酸系 サリチル酸系 安息香酸系 ジベンゾイルメタン系

肌に負担を与えない紫外線散乱剤のみで 高紫外線カット機能 (SPF50+・PA++++) を 実現したサンシェード

指定試験機関が最高の UVカット値を証明!

ほとんどの化粧品メーカーが高い紫外線防御効果を出すために、刺激面での問題を抱えながらも〈紫外線散乱剤〉と〈紫外線吸収剤〉を併用して商品化しているのに対し、モアコスメティックスでは〈散乱剤〉のみでつくられた日焼け止め製品『バーデンスサンシェード』を発売しています。

一般的に、紫外線散乱剤はUVB（290～320nm波長の紫外線）に対する防御効果が弱いという面があります。それを克服するため、バーデンスサン

シェードは散乱剤である酸化チタン及び酸化亜鉛を超微粒子化し、さらに特殊分散技術を駆使して、散乱剤を高濃度で配合することで、問題をクリアさせました。その結果、バーデンスサンシェードの紫外線防御機能は、〈SPF50+・PA++++〉という国内基準最高クラスの機能があることが、第3者外部試験機関で証明されています。夏場などの強い紫外線（UVB）を受けた際の防御効果目安であるSPFはもちろん、浴び続けることで、シワなどの光老化に繋がる紫外線（UVA）に対しても高い防御効果をもっています。1年を通して使い続けることで、

より高い効果が期待できます。もちろん、毎日使い続けても、紫外線吸収剤を配合していないため肌への負担は問題ありません。また、特殊分散技術により、使用時のべとつきや白浮きの心配もありません。汗や皮脂にも強くつけ替えの必要もない、夏にうれしいサンシェードです。



バーデンス サンシェード
(日焼け止めローション)

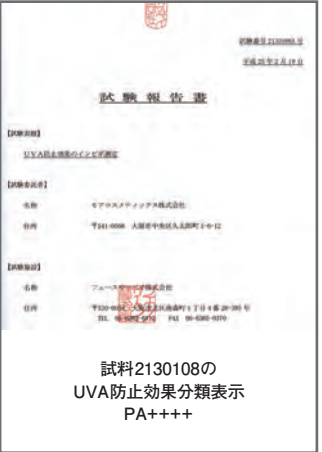
25ml 3,500円(税抜)
SPF50+・PA++++

SPF50+ UVB防止効果試験報告書



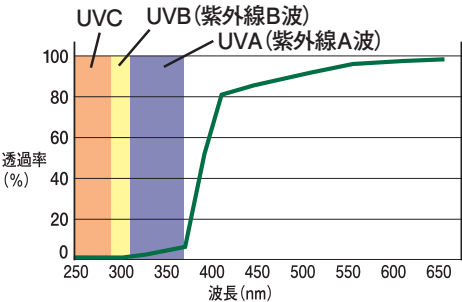
肌に負担をかけずに、1日中塗り直し不要の高SPF値を実現しています。

PA++++ UVA防止効果試験報告書



光老化をすすめるUVA防止効果が極めて高いフォーブラスの評価を受けています。

すべてのUVを完全ブロック!



◀ 紫外線のうち地上に届くのは、UVAとUVBの2種類。バーデンスサンシェードは、シミ・ソバカスの原因になるUVB、真皮に届きシワ・タルミの原因となるUVA、どちらも完全にブロックします。

あなたはパウダー派？それともクリーム派？ 使用感・仕上がりで選べるバーデンスファンデーション

紫外線対策は万全！次は、素肌を美しく見せてくれるファンデーションを重ねたい。簡単に使えて、シミやシワ、くすみなどの肌トラブルをカバーしてくれるものがある。夏の汗や皮脂にも強く、化粧くずれしにくいものじゃなきゃ困る……。バーデンスには、そんな欲張りファンデーションがそろっています。

バーデンス ファンデーション ①

シミ、シワのない、みずみずしい肌をつくる 高いカバー力と透明感を兼ね備えた パウダーファンデーション

最新パウダー技術で シワが半分に消える！

頬のシミや目の横の小ジワ、小鼻・頬の毛穴、顔のくすみ……。気になる肌トラブルを隠そうとすると、ファンデーションが厚くなりがちです。ベースメイクの厚塗りには、化粧くずれの原因になります。

そんな方におすすめなのが、『バーデンス パウダーファンデーション』です。透明感があるのに高いカバー力を持ち、ファンデーションの評価試験のひとつである「シワ評価方法」で、約半分のシワが消えることが証明済みです。その秘密は、配合されたパウダーテクノロジーにあります。超微粒子の〈ナノウレタンパウダー〉はキメを整え、ふんわり感、ツヤ感を際立たせます。透明感とカバー力を高める〈アルミナシリコンパウダー〉は、ソフトフォーカス効果によって、シミだけでなく、くすみもカバーしてくれます。

さらにすべての粉体をコーティングすることにより、耐水性と耐油性をもたせ、汗にも皮脂にも混ざらない理想のファンデーションを完成させました。

仕上げはプレストパウダー で肌の質感を上げる

実は、美しさが続くのは1日

シワを消して肌年齢を下げる ナノウレタンパウダー配合

肌のキメを整える柔軟性の高い超微粒子ナノウレタンパウダー。肌の伸縮に合わせて自由に動き、シワ隠し効果が長時間続きます。

アルミナシリコンパウダーが シミやくすみをカバー

特殊形状で肌に近い屈折率をもつアルミナシリコンパウダー。光を乱反射させる独特のソフトフォーカス効果で、シミやくすみを目立たせません。

高い粉体コーティング技術で 化粧くずれ＆乾燥知らず

すべてのパウダーをシリコンコーティング。汗や皮脂と混じらないため、化粧くずれしない。同時に、角層の水分を奪うこともないので乾燥を防ぎます。

だけではありません。ベース粉体に使用している〈モアパウダー〉は、安心・安全を最優先させるモアコスメティックスが、すべて合成で開発したオリジナル粉体です。時間経過とともに起こる色くすみを防ぎ、肌に一切刺激を与えません。刺激によってメラノサイトが活性されなければ、シミができることはありません。つまり、10年後の



バーデンス パウダーファンデーション

11g・全8色 レフィル
各3,900円(税抜)



パクトケース（無地・花柄）

1,200円(税抜)

新デザインの花柄パクトケースが誕生！
今までのパクトケースと中身や気分で使い分けてください。

肌に安全なベース粉体 モアパウダーを使用

タルク・マイカ・セリサイトという不純物を含む天然鉱石は絶対に不使用。ベース粉体に、すべて合成で完成させた安全なモアパウダーを使用しています。

肌ももってくれるファンデーションというわけです。

ベースメイクの仕上げには、『バーデンス プレストパウダー』を使ってください。バーデンス パウダーファンデーションを重ねることで、ふんわりとしたソフトフォーカスがかかり、シフォンのヴェールをまとったようなやわらかい透明感と立体感を演出します。



バーデンス プレストパウダー

12g・全2色 3,900円(税抜)



〈パウダーファンデーションの使い方〉



① まずは頬から。スポンジにファンデーションを3回とり、目の中央から外側に向かって軽く引くようにのばします。



② スポンジにつけ足さずに目の周りを。よく動く部分なので、薄めに仕上げる。よりソフトタッチを心がけて。



③ 額部分は中央から外側へ。ファンデーションを1回足して、額中央はしっかり、生え際部分は薄くぼかしていきます。



④ つけ足さずに、鼻筋は眉間から鼻先まで。鼻脇と小鼻は、鼻筋にそって上から下へと軽いタッチでのばします。



⑤ 口の周りもよく動く部分。つけ足さずに外から唇の中心に集めるように薄めに仕上げて。笑いジワはぼかすのがポイント。



⑥ 最後にフェイスラインは額から生え際に向かって、首とあごの境は、耳たぶからあご骨にそってぼかします。

バーデンス
ファンデーション
②

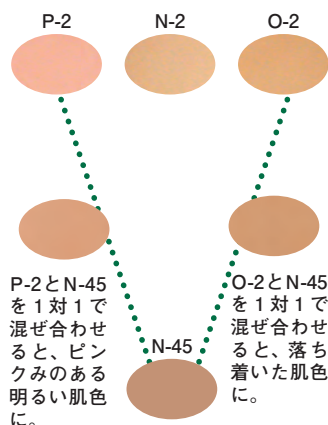
汗や皮脂にも負けないハードプロテクトで うるツヤ肌、に仕上げる クリームファンデーション



バーデンス
クリームファンデーション

SPF15・PA++
15ml・全4色 3,500円(税抜)

肌色・気分にジャストフィット
カラーが自由自在!



生活紫外線カットなら これ1本でOK!

過剰な皮脂や汗による化粧くずれプラス紫外線対策は、すべて『バーデンス クリームファンデーション』におまかせを!

ベース粉体のモアパウダーはもちろん、すべてのパウダーが皮脂や汗にも強いコーティングが施されているのでくずれ知らず。しかも、約5時間紫外線を浴びても、しっかりと紫外線を防御してくれます。

生活紫外線を浴びるだけなら、クリームファンデーション1本でOK! 薄づきなのに高いカバー力があって、自然なツヤ感まで得られ、つけたての美しい仕上がりを長時間キープできます。そのうえ、毛穴、シワ、くすみを一瞬に消し去って10年前の若々しい肌を演出します。

正しい使い方で 1日中ツヤ肌が続く

正しい使い方をするので化粧くずれを防ぎ、お肌に合った



バーデンス フェイスパウダー
12g 4,600円(税抜)

自然な仕上がりになります。お肌の状態や気分に合わせた色をつくって楽しんでください。

ベースメイクの最後は、『バーデンス フェイスパウダー』で仕上げてください。バーデンス クリームファンデーションとの相性も抜群で、しっかりメイクしているのに素肌のような透明感。メイクが一日中くずれず長持ちします。

〈クリームファンデーションの使い方〉

STEP ①



手の甲にクリームファンデーションを小豆大出し、指の腹で色の調製を行います。手のひらでは温度が高く、ゆるくなってしまうのでNG。

STEP ②



中指の腹でやさしく、おでこ、頬、あごに左右対称に2カ所ずつ、眉間、鼻、あご先に1カ所おきます。(洋服についたら、こすらないで、つまみ洗いをしてください。)

STEP ③



〈大判パフ〉を使うと、簡単にムラなくのばせます。中指と薬指の2本で、軽くパタパタとパッティングしながら顔全体になじませます。小鼻や口角などは、細やかにつけましょう。髪の毛の生え際も忘れずなじませてください。

STEP ④



フェイスラインも首、デコルテのほうに自然にぼかしましょう。

デリケートな唇を内側から保湿&外側からしっかり保護する ダブルプロテクトのリッププロテクター

モアコスメティックスは、お肌と同じようにデリケートな唇を守ることを化粧品づくりのコンセプトととらえています。皮膚にはバリア機能があり、角質層までしか栄養が届けることはできません。一方、唇はバリア機能をもたず、紫外線からまもってくれるメラニンもほとんどありません。つまり、角質層が薄い唇は栄養分が浸透しやすく、

3.5日でターンオーバーが行われているので、短期間で効果が目に見えるということです。

カサつき知らずの うるぷる唇へ

唇の荒れ以外にも、色素沈着や着色、炎症で口紅を使えない方が多くいらっしゃいます。メイクアイテムに含まれている色素、微量の金属や不純物が原因です。なかでもタール系色素は、油性のため唇の上で溶けだして強い刺激となります。

『バーデンス リッププロテクター』、『バーデンス リッププロテクターグロス』に配合されている〈レシチンポリマー〉は唇の上で保護膜となり、メイクアイテムの刺激や外的刺激から唇を保護し、うるおいも逃がしません。

さらに、唇の栄養分として〈セラミド〉と〈ペプチド〉を配合。これらが長時間唇内部にとどまり、コラーゲンやムコ多糖類を再生させる働きをしてくれます。使い続けると、唇の輪郭がはっきりして本来の唇の色・形を実感することができます。高い保湿力とトリートメント効果をもつリッププロテクターは、口紅を使用する前、就寝前にぜひお使いください。

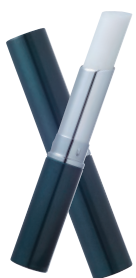
また、忘れてはいけないのが、



バーデンス
リッププロテクターグロス
〈唇保護&ツヤ出し用リップ〉

3,500円(税抜)

リッププロテクターグロス。グロスを唇にひと塗りするだけで、しっとりツヤやかでぷっくりとした唇が続きます。



バーデンス リッププロテクター
〈唇保護用リップ〉

3,500円(税抜)